

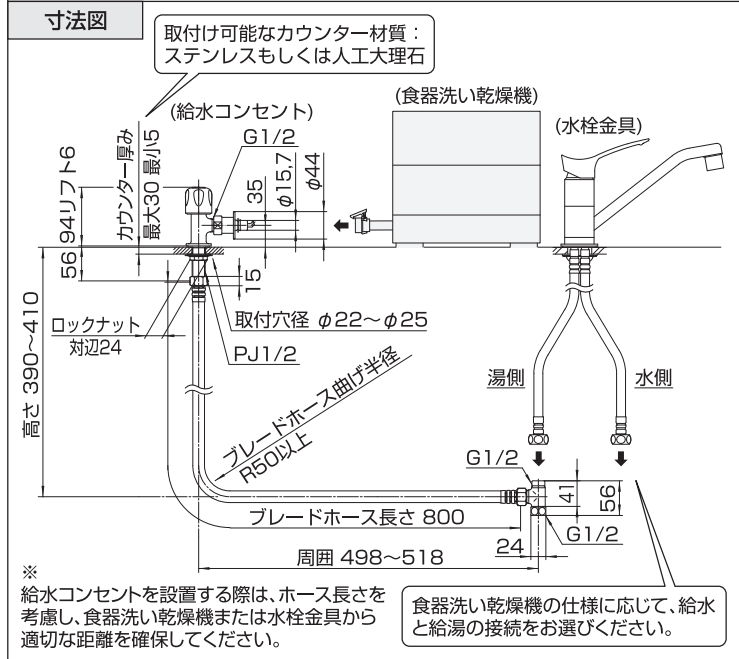
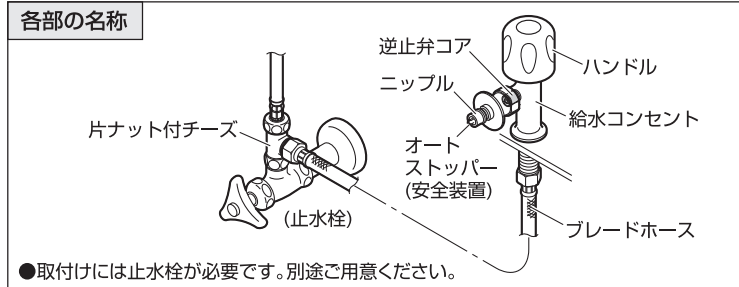
# 食洗機用分岐止水栓セット …… CB-HA7

製造元：SAN E I株式会社 (SAN E I品番：Y5050TVA-1S)

## 施工・取扱説明書

- 施工・ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 工事店様へ…施工後、この説明書をお客様へお渡しください。
- お客様へ…お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

### 本製品について 各部の名称・寸法図



### 施工・ご使用について 施工・ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

#### 用語および記号の説明

- 注意** …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
- ⚠ …… 「注意しなさい!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
- ⊘ 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
- ⊘ 「分解してはいけません!」
- ⚡ 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

### ⚠ 注意

- ⊘ 凍結が予想される場所には、設置しないでください。正常に作動しないため、やけどをする事があります。
- ⊘ 修理技術者以外の方は、製品内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
- ⊘ 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や水漏れの原因になります。
- ⊘ 同梱の部品以外は使用しないでください。故障や水漏れの原因になります。
- ⚡ 60℃以上に設定された給湯器を使用される場合は、必ず給水接続で使用してください。食器洗い乾燥機の故障の原因になります。
- ⚡ 浄水器・整水器などを使用する場合は、必ず給水接続で使用してください。給湯接続で使用すると、機器が故障するおそれがあります。
- ⚡ 施工完了後、各接続部に水漏れ・ガタツキが無いことを確認してください。高温の湯が出てやけどをしたり、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

### ⚠ 注意

- ホースを接続するまでハンドルを開けないでください。本製品の自動ストップ機能は緊急用です。安全装置が動かなくなって給水ホースを取付けることができなくなった場合は、次の手順で安全装置を復帰してください。
- ① 水栓のハンドルを開けてください。
  - ② タオルなどで手を保護して安全装置を押してください。  
※ 給湯接続の場合、高温の湯が噴き出すおそれがありますので、十分ご注意ください。
  - ③ 水栓のハンドルを開けてください。

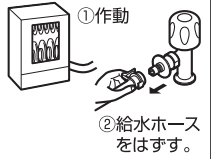
① 水栓のハンドルを開ける。



② 安全装置を押す。

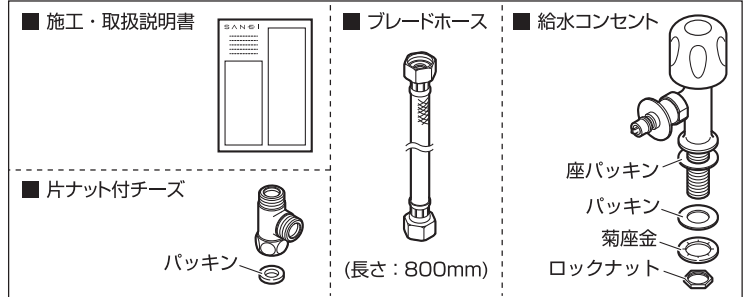


- 給水ホースをはずす際は、給水ホース内の水がですので注意してください。特に給水ホース内に圧力がかかっている場合は水が噴き出すおそれがあります。食器洗い機などに取付けている場合は、一旦作動して給水ホース内の圧力を逃がしてください。ただし、給水ホース内の水すべてが抜けるわけではありません。



### 本製品について 梱包明細

下記梱包部品があることをご確認ください。



### 施工について 適切な使用条件

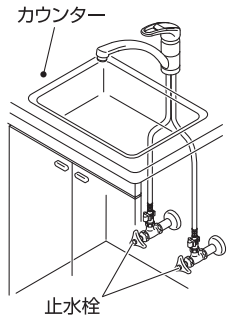
給水圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
		0.05MPa

### 施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取り除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

- 既に水栓金具の施工が完了している後付け設置の場合で、カウンター上面に取付穴があいていない場合は、次の確認を行ってください。

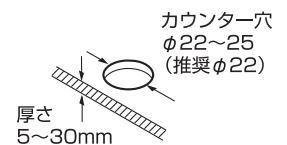
- ① カウンターの材質がステンレスもしくは、人工大理石(御影石調除く)であることを確認してください。天然大理石、ホーロー製カウンターには、穴あけ加工ができない場合があります。
  - ② 取付けには止水栓が必要です。シンク下の扉を開けて、止水栓が付いていることを確認してください。
- ※ 止水栓によっては、片ナット付チーズが取付かない場合がありますので、ご注意ください。
- ※ カウンター材質の加工については、キッチンメーカーにご確認をお願い致します。



### 施工について 施工手順

#### 1 カウンターに穴を開けます。

カウンター下の空間との取り合いを見て、穴あけに支障が無いことを確認した後、食器洗い乾燥機を仮置きして、取付穴位置を決めてください。



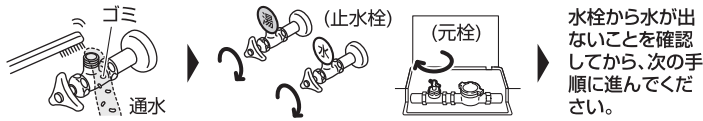
#### ⚠ 注意

- カウンターに厚みのない場合や、取付面が弱い場合は補強材などを設けてください。
- 片ナット付チーズを取付ける前に、カウンターの穴あけを行わないでください。
- 止水栓によっては、片ナット付チーズが取付かない場合がありますので、ご注意ください。
- 穴あけ加工の穴径は、 $\phi 22 \sim 25$  (推奨： $\phi 22$ ) です。
- インパクトドライバー・振動ドリルなど、叩きつけながら加工する工具は使用しないでください。
- 無理な力で押し付けて、穴あけを行わないでください。カウンターの変形・破損のおそれがあります。
- 電動ドリルまたはドライバードリル 電圧9.6V以上(最大トルク21.6N・m以上)の工具をご使用ください。
- カウンターの材質と厚みに適した加工工具をご使用ください。
- 硬い人工大理石カウンターの場合は、刃が摩耗し加工しにくくなりますので、予備の工具をご使用ください。
- カウンター厚みを考慮し、深さ30mmに対応できる工具をご使用ください。

2 配管内の掃除をしてから、止水栓または配管中の元栓を閉めます。

**注意**

配管内のシールテープすやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、この場合には有償修理となります。



3 給水コンセントと片ナット付チーズを固定します。

**注意**

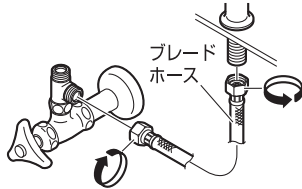
- 給水コンセントを取付ける際は、取付足のマジックラインの向きを確認してください。マジックラインの向きがニップルの向きです。
- カウンター穴中央に施工してください。座パッキンが穴からずれると漏水の原因となります。
- 本体に浮きがないよう注意してください。
- ゆるみがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。
- 食器洗い機への給湯温度は60℃が目安です。温度設定できない給湯設備の場合、給水側の配管から分岐してください。



4 給水コンセントと片ナット付チーズを、ブレードホースで接続します。

**注意**

- ゆるみがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- ホースの長さが足りないときは 平行ニップルホースをつぎ足してください。 SANEI品番：T206-13(別売)



5 食器洗い乾燥機と水栓本体を接続します。

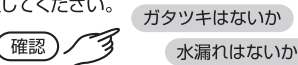
(イラストは参考例です。)



※ 接続後、各給水ホースをまっすぐに引っ張り、抜けないことを確認してください。

6 ガタツキ・水漏れチェックをします。

接続後、各部にガタツキがないか必ず確認してください。ガタツキの確認後、止水栓を開いて各部に水漏れがないか必ず確認してください。水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。

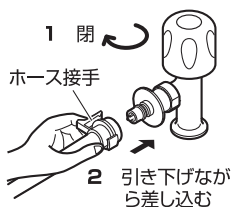


※ 止水栓または配管中の元栓を開ける際は、必ず給水ホースを接続してください。

**ご使用について** 給水ホースの接続と吐水・止水

給水ホースの接続

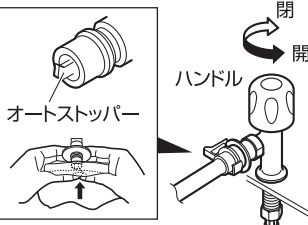
- 1 水栓のハンドルを確実に閉めます。
- 2 食器洗い機のホース接手をニップルへカチッと音がするまで差し込みます。  
※ 給水ホースをまっすぐに引っ張り、抜けないことを確認してください。
- 3 通水して各接続部から水漏れがないか確認します。  
●転居などに備え、はずした部品の保管をおすすめします。



吐水・止水

食器洗い乾燥機を接続後、ハンドルを開けて通水します。

- オートストッパー(安全装置)について  
使用中にホース接手がはずれても、オートストッパーが働いて通水しない機構になっています。(ただし、給水ホース中の破損はオートストッパーが働きません。)
- ホース接手を取付けられなくなった場合  
安全装置を復帰してください。  
参照：表面「施工・ご使用に関する安全上のご注意」



※ 食器洗い乾燥機を使用しない場合は、ハンドルを開けてください。

**日頃のお手入れ** 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておく、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

**注意**

- 次のもは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。
- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類  
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど

洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。本体の割れや変色変質の原因となります。

**定期的な部品交換** 逆止弁の交換時期

逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

- ※ 交換時期は、使用環境などにより異なります。
- ※ 逆止弁の交換を依頼される場合は「アフターサービス」を参照してください。



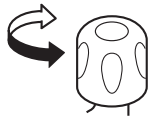
**定期的な点検** 可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あかが固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。ハンドルの点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどきハンドルを回してください。(月1回を目安)

ハンドルを長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。

ハンドルが回らなくなった場合は、「アフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。



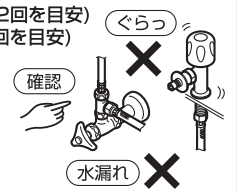
**定期的な点検** 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)

定期的、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

修理の依頼をされる場合は、「アフターサービス」を参照してください。



■本製品についてのお問い合わせ・ご相談は、下記製造元にご連絡ください。

製造元：

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721 (通話料無料)

受付時間 9：00～17：30(土日祝除く)

**アフターサービス**

〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
  - 住所、氏名、電話番号
  - 品番、品名
  - お買上げ(据付け引渡し)年月日
  - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
  - 訪問希望日

●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

〔部品の交換〕

●止水部やパッキンが摩耗・劣化すると水漏れの原因となります。この場合、該当部品の交換が必要です。

●安全・快適にお使いいただくために、定期的な逆止弁の点検・交換をお願いします。

〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。ご不明な場合は最寄りの当社カスタマーセンターへお問合せください。